

読者の頁



あめりか便り

(山内一郎君第1信)

3月14日羽田空港を出発、途中 San Francisco に一泊したのみで、飛行機ばかりで17日には Washington D.C. に着いた。その後 New York に2、3日出掛けたのみで、殆んど Washington D.C. に居たが、1泊2日の予定で昨4月4日の夜 Washington を出発、今日 Ohio 州 New Philadelphia 市に宿泊して居る。この市は人口が4万程度あり Muskingum Conservancy District の Office のある所で、そこの視察に来たわけである。この District は 1938 年にでき上つたもので、少し旧聞にはなるが、流域管理の一つの行き方としてなかなか面白い所があり参考になつた。

アメリカでは公共事業はどの様な段階を経て始められるかと言うと、すべて最初は地元民から話が始まつている。先ず地元民の強力な態勢を作り上げ地元の力で解決できない時は County へ相談に行く、そこでも解決できないと State、最後には Congress に提出され Congress は Federal Government に調査を命じ、工事費に対して利潤の大きい事業のみが取上げられて実行に移されてゆく。この Muskingum Conservancy District も同様な経路を経て再三の洪水のため、地元民は強く結集されて、遂に議会を動かし、又事業の効果も大きかつたので議会で決議され 14 の洪水調節用 Dam の建設は Federal Government の Corps of Engineers で、道路の付替は State で用地問題は District で担当することになり、この大事業は完成して居る。6 000 万弗の経費を使い、14の

洪水調節池は青々と水を湛え且つ洪水調節の機能を十分に発揮し、美しい舗装道路が縦横に走っているのを見て民衆の結束力の偉大さがわかります。今も尙この District は存在して居り、湖の附近の土地を管理して居て recreation、植林等の事業を行い独立採算制で立派にやつている Ohio 州の名所の一つとなつている。

私達の一行は建設省目黒河川局長以下5名(前号参照)で視察の目的は洪水調節並びに流域管理という題目で河川の外に森林、灌漑等を綜合して見てゆくのでなかなか勉強になる。Washington D.C. の関係各官庁を廻りましたが、それも内務省の Bureau of Reclamation, Geological Survey, 陸軍省の Corps of Engineers, 農務省の Soil Conservation Service, Forest Service 等で、それぞれ流域管理に関係があり興味のある話を大分聞いた。3月28日には New York にでかけ Long Island の地下水の問題を視察し、翌29日には ASCE を訪れ、Mr. WM.N. Carey に会い時間があまりないので1時間程で切上げたが新しい資料を2、3もらつた。

明日で Muskingum の視察を終り、夜行で Washington D.C. へ帰る予定、丁度桜の満開で Potomac 河畔の Geferson 記念館附近が一番眺めがよいようだ。ここで夜桜を見るのを楽しみにして居る。9日まで Washington D.C. に居て10日からのよい本式に現地の視察に出掛ける予定で大体次のような行程である。

Washington D.C. → Spartanburg → Ashville → Knoxville (T.V.A.) → Memphis → New Albany → Vicksburg (Mississippi River) → New Orleans (〃) → Washita → Bull-Shoals → Kansas City (Missouri River) → Denver → Ogden → Logan → Boise → Pendleton → Portland → San Francisco

San Francisco に6月10日頃に着き、こゝから帰国することになる。では視察の途中で面白いことがあれば便りを致します。(5 April 1951, New Philadelphia, Ohio)

卒業生の就職調べ

本年度各大学を巣立つた卒業生の中、土木関係出身者の就職状況を8大学に亘り調査した結果次の通りまとまつた。今年の一般的な傾向としては、民間会社(日発、私鉄等)が比較的多く、地方庁(市役所、都を含む)がこれに次ぎ、官庁(建設省、運輸省等)、学校関係の順で、概して昨年度よりは就職状態は良好のようである。(昭. 25.3.20現在)

(編集部)

	国鉄	官庁	地方庁	民間	学校	未定	他	計
東大一工	2	8	9	16				35
東大二工	3	5	11	16	4			39
京大	1	6	13	12	3			35
北大	1	2	11	7			1	22
九大		2	17	10	2		1	32
阪大 (構築)			8	4				12
早稲田	(旧制)	14		31	2	26	3	76
日大	(新制)	18		24	4	25	0	71
		25	3	37		5	16	86